

鴨川市コミュニティバス
平成24年度の運行結果について

平成25年8月

鴨川市企画政策課

[目 次]

1 運行の概要	- 1 -
(1) 運行概要	- 1 -
(2) 運賃	- 1 -
(3) 収支	- 2 -
2 運行の実績	- 3 -
(1) 総輸送者数	- 3 -
(2) 1 便当たり輸送人員	- 4 -
(3) 10 人以上の乗車実績	- 5 -
3 ノーカーサポート優待証について	- 6 -
4 その他	- 7 -
(1) 鴨川市地域公共交通会議における協議経過	- 7 -
(2) コミュニティバスの運行に関する事項	- 7 -

1 運行の概要

(1) 運行概要

北ルート・清澄ルートでは平成 23 年度と同様の運行を行ったが、南ルートについては、平成 24 年 7 月 1 日から 2 往復 4 便の廃止、運行ルートの変更（太海地区への乗り入れを廃止し、公共交通空白地域であった畑地区へルート延伸）等の運行見直しを実施した。

番号	路線名	運行区間	運行本数 (往復)	運行日数 (日)	キロ程 (km)	停留所 (箇所)	
1	北ルート	金山ダム⇄鯛の浦	3.0	365	20.29		
		金山ダム⇄鴨川駅西口	1.0	365	7.39		
		路線計	4.0	365	20.29	48 (※1)	
2	清澄ルート	天津小湊支所⇄奥清澄	6.0	365	12.89		
		路線計	6.0	365	12.89	20 (※2)	
3	南ルート	～6.30	鴨川駅前 ⇄曾呂終点	3.0	91	26.80	
			太海駅 ⇄曾呂終点	3.0	91	9.50	
			鴨川駅前 ⇄浦の脇	1.0	91	4.05	
			小計	7.0	91	26.80	54 (※3)
		7.1～	鴨川駅前 ⇄曾呂終点	3.0	274	26.84	
			鴨川駅西口 ⇄曾呂終点	1.0	274	15.22	
			鴨川駅前 ⇄浦の脇	1.0	274	4.05	
			小計	5.0	274	26.84	53 (※3)
			路線計	5.5	365	-	-
			合計	15.5	365	-	-

(※1) 重複停留所数（南ルート：10、清澄ルート：2）

(※2) 重複停留所数（北ルート：2）、(※3) 重複停留所数（北ルート：10）

(2) 運賃

北ルート・清澄ルートについては平成 23 年度と同様の設定で運行したが、南ルートにおいては、平成 24 年 7 月 1 日付け運行見直しの実施に伴い、最高運賃が 860 円から 730 円に減額となっている。

	路線名	形態	運賃	特例
1	北ルート	対キロ区間制	140 円～750 円	(半額)小学生以下、身体障害者手帳、療育手帳、ノーカーサポート優待証所持者 (無料)未就学児童
2	清澄ルート	簡素化制	200 円・400 円	
3	南ルート	対キロ区間制	(～6.30)140 円～860 円 (7.1～)140 円～730 円	

(3) 収支

南ルートにおける運行方法の変更により運行の効率化と利便性の向上を図った結果、前年度と比較して運行費用が2,803千円の減額となる一方、運行収入は37千円のプラスとなった。

これにより、運行費用と運行収入の差し引きで2,840千円、9.0%の経費削減が実現し、収益率が15.6%から16.9%へと1.3ポイント改善するとももに、乗客1人当たりの市負担額も966円から816円へと、150円の減額となった。

項目	H24 (千円)	H23 (千円)	比較増減 (H24-H23)	
			増減(千円)	増減率 (%)
運行事業者 (委託先)	鴨川日東バス(株)	鴨川日東バス(株)	—	—
運行費用	34,697	37,500	▲2,803	▲7.5
運行収入	5,878	5,841	37	0.6
差し引き	28,819	31,659	▲2,840	▲9.0
収益率	16.9%	15.6%	—	▲1.3ポイント
乗客1人当たり市負担額	816円	966円	150円	▲15.5

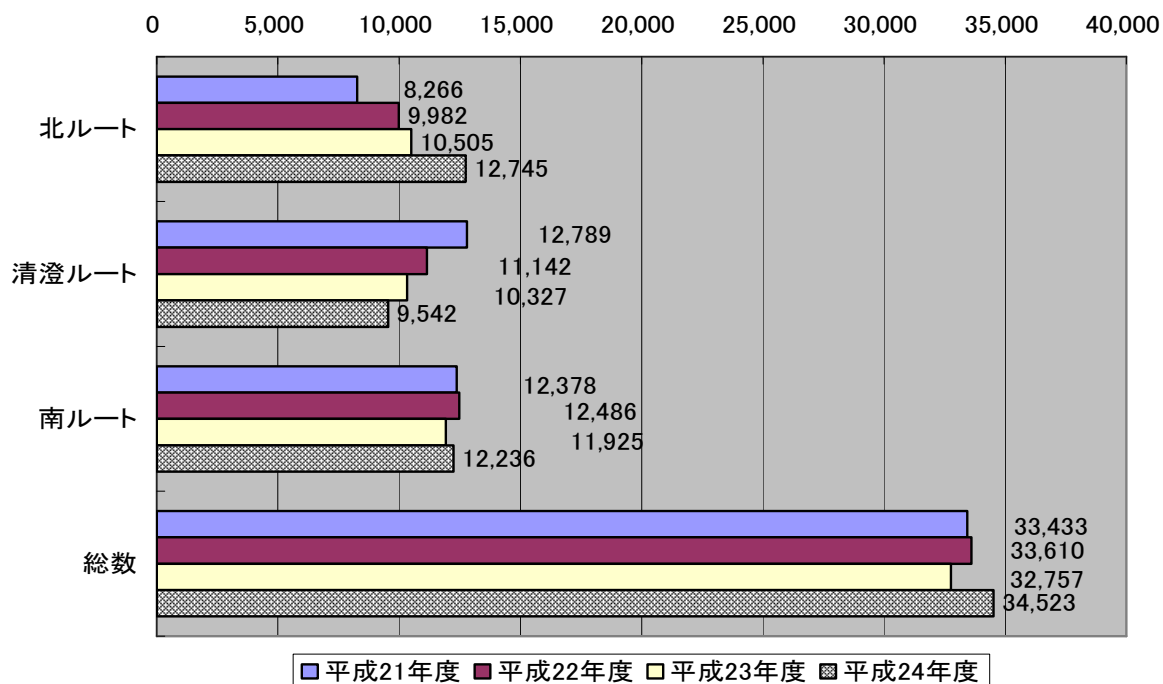
2 運行の実績

(1) 総輸送者数

平成24年度の輸送実績は34,523人で、平成23年度の32,757人から1,766人、率にして5.4%の増となった。

なお、路線別の輸送実績としては、北ルートが対前年度比で2,240人、21.3%の大幅な増となった一方、清澄ルートについては、785人、7.6%のマイナスであり、沿線人口の減少等を背景として、一貫して減少傾向にある。また、平成24年度において運行見直しを行った南ルートについては、2往復4便の廃止を実施した鴨川駅西口⇄曾呂終点の系統で1,271人、57.9%の減となったものの、ルート全体としては311人、2.6%の増加となった。

年度別・路線別輸送実績



○年度別・系統別輸送実績

	路線名	運行区間	H24	H23	H22	H21	比較増減 (H24-23)	
			(人)	(人)	(人)	(人)	増減 (人)	増減率 (%)
1	北ルート	金山ダム⇄鯛の浦	11,338	8,967	7,954	6,933	2,371	26.4
		金山ダム⇄鴨川駅西口	1,407	1,538	2,028	1,333	▲131	▲8.5
		小計	12,745	10,505	9,982	8,266	2,240	21.3
2	清澄ルート	天津小湊支所⇄奥清澄	9,542	10,327	11,142	12,789	▲785	▲7.6
		小計	9,542	10,327	11,142	12,789	▲785	▲7.6
3	南ルート	鴨川駅前⇄曾呂終点	10,761	9,168	8,817	8,764	1,593	17.4
		太海駅⇄曾呂終点(7.1～2往復廃止の上、鴨川駅西口⇄曾呂終点)	926	2,197	3,120	3,074	▲1,271	▲57.9
		鴨川駅前⇄浦の脇	549	560	549	540	▲11	▲2.0
		小計	12,236	11,925	12,486	12,378	311	2.6
合計			34,523	32,757	33,610	33,433	1,766	5.4

(2) 1 便当たり輸送人員

1 便当たりの輸送人員で最も多いのは北ルート of 金山ダム⇄鯛の浦間で、昨年度より 1.1 人増加の 5.2 人/便となり、北ルート全体としても、3.6 人/便から 4.4 人/便へと 0.8 人/便の増加となった。

昨年度に運行見直しを実施した南ルートについては、鴨川駅前⇄曾呂終点の系統で、見直し前が 0.8 人/便の増加、見直し後においても 0.7 人/便の増加となったほか、2 往復 4 便の廃止を実施した鴨川駅西口⇄曾呂終点の系統においても、見直し後は 0.2 人/便の増加が見られるなどした結果、南ルート全体としても 2.3 人/便から 3.0 人/便へと、0.7 人/便の増となるなど、一定の効果が確認できる。

一方、清澄ルートについては 2.4 人/便から 2.2 人/便へと 0.2 人/便のマイナスであり、運行開始以来の減少傾向が続いている。

全ルートの合計としては、2.6 人/便から 3.1 人/便へと、0.5 人/便の増加となった。

○年度別・路線別 1 便当たり輸送人員

		(人/便)						
路線名	運行区間	運行回数 (往復)	H24	H23	H22	H21	増減 (H24-23) (人/便)	
1	北ルート	金山ダム⇄鯛の浦	3.0	5.2	4.1	3.6	3.2	1.1
		金山ダム⇄鴨川駅西口	1.0	1.9	2.1	2.8	1.8	▲0.2
		路線計	4.0	4.4	3.6	3.4	2.8	0.8
2	清澄ルート	天津小湊支所⇄奥清澄	6.0	2.2	2.4	2.5	2.9	▲0.2
		路線計	6.0	2.2	2.4	2.5	2.9	▲0.2
3	南ルート	(～6.30) 鴨川駅前⇄曾呂終点	3.0	5.0	4.2	4.0	4.0	0.8
		(7.1～) 鴨川駅前⇄曾呂終点	3.0	4.9				0.7
		(～6.30) 太海駅⇄曾呂終点	3.0	0.5	1.0	1.4	1.4	▲0.5
		(7.1～) 鴨川駅西口⇄曾呂終点	1.0	1.2				0.2
		鴨川駅前⇄浦の脇	1.0	0.8	0.8	0.8	0.7	0.0
		路線計	5.5	3.0	2.3	2.4	2.4	0.7
合計		15.5	3.1	2.6	2.7	2.7	0.5	

(3) 10人以上の乗車実績

平成24年度において、同時に10人以上が乗車した便数は、全ルートの合計で133便(全便数11,314便の1.2%)であり、平成23年度と比べて、6便、4.7%の微増となった。

路線別に見ると、北ルート17便、20.0%の増加であり運行開始以来の増加傾向が継続しているほか、清澄ルートと南ルートでは昨年度に比べて減少となっている。

○10人以上の乗車便数

	路線名	使用車両 (定員)	H24 (便)	H23 (便)	H22 (便)	H21 (便)	比較増減		最大乗車人員 (H24・H23)
							増減(便)	増減率(%)	
1	北ルート	日野ポンチョ(27)	102	85	43	28	17	20.0	(27人・18人)
2	清澄ルート	トミタハイエース(15)	17	25	26	26	▲8	▲32.0	(37人・22人)
3	南ルート	日野ポンチョ(27)	14	17	30	17	▲3	▲17.6	(28人・28人)
合 計			133	127	99	71	6	4.7	

3 ノーカーサポート優待証について

高齢運転者による交通事故を抑止するため、運転免許を自主的に返納した 65 歳以上の高齢者を対象に交付する「ノーカー・サポート優待証」による運賃半額割引制度（高速バスを除く）が平成 23 年 7 月 1 日から日東交通グループ 4 社において一斉に施行されており、同制度による運賃割引をコミュニティバスにおいても可能としている。

この平成 24 年度における発行状況及び利用者数は下表のとおりであった。

発行年月	発行枚数	利用者数(延べ使用回数)	
		鴨川日東バス管内	うちコミュニティバス分
H24.04	1	35	4
H24.05	0	42	5
H24.06	0	45	5
H24.07	0	40	7
H24.08	3	48	6
H24.09	1	55	15
H24.10	1	58	14
H24.11	0	46	6
H24.12	0	49	12
H25.01	0	60	18
H25.02	1	62	17
H25.03	2	69	19
平成 24 年度計	9	609	128
～平成 23 年度	32	253	23
累計	41	862	151

※ 利用者数は乗務員からの報告による。

※ 利用路線は下記のとおり(高速バスは利用不可。コミュニティバスを除く。)

1) 市内線、2) 木更津線、3) 金谷線、4) 長狭線、5) 館山線

4 その他

(1) 鴨川市地域公共交通会議における協議経過

年月	地域公共交通会議	資料等
24年 10月	<p>●第1回会議(平成24年10月19日)</p> <p>[議題]</p> <p>(1)平成23年度における鴨川市コミュニティバスの運行結果について</p> <p>(2)先進地事例調査の結果について</p> <p>(3)平成24年度における運行見直しの対象路線と見直しの方向性について 外</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資料11 平成23年度鴨川市コミュニティバス運行結果 ・資料12 先進地事例調査結果～公共交通の運行の態様について～ ・資料13 平成24年度における運行見直しの対象路線と見直しの方向性について ・鴨川市地域公共交通会議 平成23年度第3回会議 会議録
12月	<p>●第2回会議(平成24年12月20日)</p> <p>[議題]</p> <p>(1)有料広告の導入について</p> <p>(2)清澄ルートの見直しについて 外</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資料14 有料広告の導入について ・資料15 清澄ルートの見直しについて ・平成24年7月1日以降における南ルートの運行状況について ・鴨川市地域公共交通会議 平成24年度第1回会議 会議録
25年 2月	<p>●第3回会議(平成25年2月19日)</p> <p>[議題]</p> <p>(1)清澄ルート見直し案の一部改正について</p> <p>(2)北ルートの取り扱いについて 外</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資料16 清澄ルート見直し案の一部改正について ・資料17 北ルートの取り扱いについて ・鴨川市地域公共交通会議 平成24年度第2回会議 会議録

(2) コミュニティバスの運行に関する事項

年月	内 容	備 考
25年 1月	<p>●住民説明会</p> <p>清澄ルートの運行見直し策について、四方木地区において住民説明会を開催</p>	1月10日(木) 四方木ふれあい館
1～3 月	<p>●平成25年度運行事業者の選定</p> <p>(1)運行事業者の公募(1月10日～2月8日)</p> <p>(2)運行事業者の選定(3月初)</p> <p>(3)運行業務委託契約の締結(3月22日)</p>	運行事業者:鴨川日東バス株式会社 (平成23年度から継続)
4月	<p>●清澄ルートの一部デマンド化を施行</p> <p>●コミュニティバス車体・車内への有料広告の募集を開始</p>	